

中学生に なに読もう？

—自分らしく生きる—

中学生に絵本の読み聞かせをしてみようという方を対象とした、テーマごとのリストです。
図書に関する記載事項は、書名・編著者名・画家名・訳者名・出版社・大きさ・ページ数・ISBN・通して読むのにかかる時間の目安の順になっています。

エリザベスは本の虫 サラ・スチュワート著 デイビッド・スモール絵 福本友美子訳 アスラン書房

28cm 32p 978-4-900656-35-2 8分

エリザベス・ブラウンは大の読書家で、寝てもさめても本と一緒に過ごします。そして、ついに本が家にはいりきらなくなり、とうとう図書館をひらいてしまいます。本に顔をうずめて読みふける様子を優しい水彩画と、リズムカルな文体で描きます。好きなことを貫き通し、かつ楽しむという生き方は痛快です。

おじいちゃんの手 マーガレット・H.メイソン著 フロイド・クーパー絵

もりうち すみこ訳 光村教育図書 29cm 30p 978-4-89572-828-7 5分

ジョーゼフのおじいちゃんの手は、ロープを結んだり、ピアノを弾いたりと何でもできるのに、パン生地をこねることはゆるされませんでした。アフリカ系アメリカ人の人々が手をつなぎあい、社会を変えていく様が、力強い絵で静かに語られます。



おばあちゃんは木になった 大西暢夫著・写真 ポプラ社 27cm 39p 978-4-591-07241-7 13分

ダム建設が決まり、徳山村は水の底に沈むことになります。住人が街に引っ越すなかで、もう少し生まれ育った村で暮らしたいと、何人かのお年寄りが戻ってきました。昔ながらの生活と、人々の故郷への思いが写真を通して伝わってきます。

ストライプ ーたいへん!しまもようになっちゃったー

デヴィッド・シャノン著・絵 清水奈緒子訳 らんか社 29cm 32p 978-4-88330-133-1 12分

カミラはリマ豆が大好きですが、他の人が嫌いなので、食べるのをがまんしていました。ある日、カミラの体は色とりどりのしま模様になってしまいます。周囲の言うことにあわせてくると模様が変わるカミラが、自分を取り戻すまでの大騒動をコミカルに描きます。

でっかいでっかいモヤモヤ袋 ヴァージニア・アイアンサイド著 フランク・ロジャース絵 左近リベカ訳

草炎社 28cm 24p 978-4-88264-280-0 7分

ジェニーはいつもしあわせでした。でも、この頃ふとりはじめた気もするし、学校の成績も気になります。そんなモヤモヤとした気持ちが、ある日大きな袋になってあらわれました。不安や悩みを抱えたときはどうしたらいいのか？子どもの目線で、気持ちの整理の仕方を伝えます。

ハルばあちゃんの手 山中 恒著 木下 晋絵 福音館書店 30×31cm 42p 978-4-8340-2106-6 7 分

海辺の小さな町に生まれたハルは、ほくろのある器用な手を持っていました。ものを作り、働き、子どもを育てた手を通して、一人の女性の一生が静かに語られます。誠実に、懸命に生きたハルの姿が、緻密な鉛筆画で力強く描かれています。

半日村 斎藤隆介著 滝平二郎絵 岩崎書店

29cm 30p 978-4-265-90936-0 8 分

高い山にさえぎられて、半日しか日がささない村がありました。ある日、一人の子どもが山から土を降ろしはじめます。最初はあきれていた村人たちも、やがて一緒に土を運び出すのでした。小さなことでもこつこつと積み重ねることで大きな力になることを、色彩を帯びた切り絵で力強く描きます。



フレデリック ーちょっとかわったのねずみのはなしー

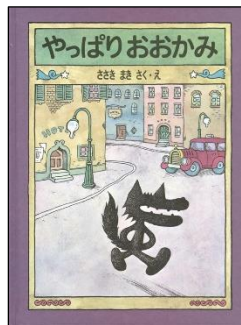
レオ・レオニ著 谷川俊太郎訳 好学社 28cm 31p 978-4-7690-2002-8 8 分

野ネズミのフレデリックは、仲間たちが一生懸命働いている時も、考え事に夢中です。やがて冬になり、食べ物が底をついたとき、フレデリックの集めていた「いろ」や「ことば」が皆を救います。色彩豊かなコラージュで、灰色の冬に詩人の言葉が周りを明るく照らす様子が描かれます。

ヤクーバとライオン 1 勇気 ティエリー・デデュー著 柳田邦男訳 講談社

31cm 32p 978-4-06-283012-6 6 分

アフリカの少年ヤクーバは、戦士になる日を迎えました。ライオンを一人で倒すのです。しかし、ようやく見つけたライオンは、すでに傷つき、力もつきはてていました。本当の勇気とはなにかを、モノクロの力強い筆致で問いかけてきます。



やっぱりおおかみ ささき まき著・絵 福音館書店

27cm 31p 978-4-8340-0520-2 4 分

一匹だけ生き残っていたオオカミの子どもがいました。仲間を求めて街をうろつきますが、いるのは他の動物たちばかり。やがてオオカミは、オオカミとして生きるしかない気がつきます。終始シルエットで表現されるオオカミが、孤独と自立を象徴します。

雪の写真家ベントレー ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン著 メアリー・アゼアリアン絵 千葉茂樹訳

BL 出版 26×26cm 32p 978-4-89-238752-4 11 分

世界で初めて雪の結晶の写真を撮ることに成功したウィルソン・ベントレーの伝記です。故郷の村で、子どもの頃から大好きだった雪の研究を続けて、ついには世界的な「雪の専門家」と認められました。その生涯を、温かみのある素朴な版画で丁寧に描いています。

ルピナスさん ー小さなおばあさんのお話ー バーバラ・クーニー著 かけがわ やすこ訳

ほるぶ出版 21×27cm 32p 978-4-5935-0209-7 11 分

アリスは、世の中をもっと美しくするために何かをしようと、こどもの頃に祖父と約束しました。彼女は、仕事をし、世界中を旅して、忘れられない人や美しい国に出会います。そして自分の住む村をルピナスの花で埋め尽くしました。生きることの意味を、世界の美しさとともに描きます。